

令和7年度 豊田地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

一総括表一

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

豊田地区は、栄区の中で南西の位置にあり、戸塚区と鎌倉市、一部港南区と隣接している。最寄り駅は戸塚駅・本郷台駅・大船駅となるが、多くの方がバスを利用している。高齢化率は令和5年9月末現在で29.46%(栄区30.79%)だが、最も低い長尾台町の20.18%から最も高い本郷台での40.79%と地区内でも差があり、課題もそれぞれ異なっている。本郷台では75歳以上の後期高齢化率も27.7%となっており、住民の約4人に1人以上が75歳以上となっている。

近年はコロナ禍を経て、高齢者の足腰の筋力低下や認知症の進行に関する相談が増えている。このため、ケアプラザだけではなく、それぞれの地域で「歩いて通うことができる集まりの場」が必要となっている。また、認知症の方やご家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域の中で見守り合える関係づくりも大切である。

一方、要介護認定者数は横浜市平均に比べ少なく、介護度も低い傾向にあり、元気な高齢者が多い地域であることが伺える。介護予防に力を入れ、住み慣れた地域で、いつまでもその人らしい生活ができるように支援する。

また、高齢者のみでなく、子育て支援においても、乳幼児がいる親の孤立防止のため、地域の中で繋がりづくりが必要。学齢期の子どもについても、地域の中で活躍できる場を用意し、子どもたちの地元愛を育みます。障害児者においては、地域の中で見守られながらその人らしく生活できるよう、より一層の啓発と交流が必要である。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	■	<地域福祉保健計画の推進支援> ・支え合い連絡会や6つの委員会を定期的に開催し、地区別計画の推進を行う。 ・各委員会と協働し、地域課題についての検討を行う。 ・第5期計画の策定について、連合町内会自治会や地区社協、各種委員会委員等と取り組む。
<input type="checkbox"/>	■	<地域ケア会議の開催> ・個別ケースについての地域ケア会議を開催し、地域全体で課題に取り組む。 ・個別ケースから把握した課題を包括レベルケア会議、協議体等に繋ぐための機会をつくる。 ・身近な場所で集える場、住民同士の支え合いの必要性を地域住民と共有し、地域における取組みを支援する。
<input type="checkbox"/>	■	<集まる場や見守り体制づくりの支援> ・歩いて通える場所でサロンや健康体操等介護予防につながる取組みができるよう、地域活動を支援する。 ・地域にある各種集いの場において、参加者同士の見守りができるよう、啓発する。 ・支え合い連絡会や委員会、協議体等により具体的な検討を行う。
<input type="checkbox"/>	■	<民生委員や専門職との情報共有> ・各地域の民生委員の方々と、専門職との情報交換を行い、必要な情報を共有する機会を図る。 ・地域団体との専門職(ケアマネジャーを中心に)との情報を共有し連携する場を図る。
<input type="checkbox"/>	■	<子育て世代や障害児者への支援> ・子育て世代が集い、親同士がお互いの悩みや困り感を共有できる場づくりを、地域の方とともに取り組む。 ・他ケアプラザと共に実施している障害児余暇支援事業の中で、若い世代のボランティアの協力も募り、障害への理解を広める。 ・委員会の子ども及び障害児者に関する取組みを、区や区社協と連携して支援する。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

区からのコメント

令和7年度豊田地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組 計画	ケアプラザという公の立場を意識し、ハートページ等の資料を提示した上でサービス提供事業者を選択してもらうなど、特定の事業者や利用者への利益誘導等に陥らないよう公正中立を常に意識し、業務に努めます。	「社会福祉法人横浜市社会福祉協議会の保有する個人情報の保護に関する規程及び個人情報保護に関する方針」に基づき、全職員が統一した認識とルールによって個人情報の保護にあたるよう努めます。また、職員全員を対象にした個人情報保護に関する内部研修を実施し、意識啓発を図ります。
実績		

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	要支援1・2と認定された高齢者が日常生活において具体的な生活目標を持ちながら生活を送っていただけるように、利用者と家族との協働作業による介護予防プランの計画作成を行います。	利用者・家族の話をしっかりと傾聴し、利用者のニーズや意向に基づいたケアマネジメントを行います。また、介護支援専門員のケアマネジメントの向上を図り、また抱えた課題を組織で解決し、解決のノウハウを蓄積します。 <small>注今を遺す! 安寧! +介護起酬を確保! オオ</small>
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額 【その他料金】	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額 【その他料金】
職員体制	保健師等1名(常勤兼務)4 管理者・主任ケアマネジャー1名(常勤兼務)、社会福祉士1名(常勤兼務)、予防プランナー4名(非常勤専任)	管理者・介護支援専門員2名(常勤専任) 介護支援専門員1名(非常勤専任)
契約者数		

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	介護保険で「要介護」「要支援」と認定を受けた方に、日帰りで食事・入浴・機能訓練などのサービスを提供し、ご本人やご家族の日常生活を支援します。		
実施体制	【実施日数】 年間309日(休日:毎週日曜日、12/29~1/3) 【提供時間】 10:15~15:20 【定員】 31名(通所介護・第1号通所介護合計)	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額 【その他料金】 ■通所介護 食費負担 850円 (食事キャンセル料502円) ■第1号通所介護 食費負担 850円 (食事キャンセル料502円)	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額 【その他料金】	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額 【その他料金】
職員体制	管理者1名(常勤)、生活相談員3名(常勤)、介護員111名(非常勤)、看護師(機能訓練指導員)4名(非常勤)、送迎運転員4名(非常勤)、調理員4名(業務委託)		
契約者数等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和7年度「豊田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）<地域活動交流>

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	21,468,326	0	21,468,326	0	21,468,326	横浜市より
内 受領額	21,468,326		21,468,326		21,468,326	
訳 戻入額					0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0		0	
雑入	70,000	0	70,000	0	70,000	
内 印刷代	70,000		70,000		70,000	
訳 自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他	2,518,167		2,518,167		2,518,167	
収入合計	24,056,493	0	24,056,493	0	24,056,493	

支出の部

宣言

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	13,757,337	0	13,757,337	0	13,757,337	法人本部経費が含まれている
内 本俸	11,660,337		11,660,337		11,660,337	
社会保険料	547,000		547,000		547,000	
手当計	1,538,000		1,538,000		1,538,000	
内 健康診断費	6,000		6,000		6,000	
訳 勤労者福祉共済掛金	6,000		6,000		6,000	
退職給付引当金繰入額	0		0		0	
その他			0		0	
事務費	200,000	0	200,000	0	200,000	法人本部経費が含まれている
旅費	5,000		5,000		5,000	
消耗品費	20,000		20,000		20,000	
会議賄い費	5,000		5,000		5,000	
印刷製本費	30,000		30,000		30,000	
通信費	50,000		50,000		50,000	
使用料及び賃借料	20,000	0	20,000	0	20,000	
内 自販機目的外使用料（横浜市への支出）	20,000		20,000		20,000	
訳 その他			0		0	
備品購入費	0		0		0	
図書購入費	0		0		0	
内 施設賠償責任保険	0		0		0	
訳 職員等研修費	5,000		5,000		5,000	
振込手数料	15,000		15,000		15,000	
リース料	50,000		50,000		50,000	
手数料			0		0	
地域協力費			0		0	
公租公課	0	0	0	0	0	
内 事業所税			0		0	
内 消費税			0		0	
訳 印紙税			0		0	
その他			0		0	
事業費	2,499,850	0	2,499,850	0	2,499,850	法人本部経費は含まれない
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	2,499,850		2,499,850		2,499,850	
訳 その他			0		0	
管理費	6,835,856	0	6,835,856	0	6,835,856	法人本部経費は含まれない
内 光熱水費	2,200,000		2,200,000		2,200,000	
清掃費	1,486,772		1,486,772		1,486,772	
機械警備費	250,000		250,000		250,000	
設備保全費	2,899,084	0	2,899,084	0	2,899,084	
内 空調衛生設備保守	186,000		186,000		186,000	
内 消防設備保守	23,000		23,000		23,000	
内 電気設備保守	370,000		370,000		370,000	
訳 害虫駆除清掃保守	25,445		25,445		25,445	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	2,294,639		2,294,639		2,294,639	自動ドア、エレベーター、文書廃棄、
共益費			0		0	
その他			0		0	
修繕費	474,000		474,000		474,000	予算：指定額
太陽光パネル保守点検	219,450		219,450		219,450	
太陽光パネル修繕（追加）			0		0	
その他	0	0	0	0	0	
内 内 支出去合計	23,986,493	0	23,986,493	0	23,986,493	
内 内 差引	70,000	0	70,000	0	70,000	

自主事業費 収入	30,000	0	30,000	0	30,000	
自主事業費 支出	300,000	0	300,000	0	300,000	
自主事業 収支	△ 270,000	0	△ 270,000	0	△ 270,000	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	20,000	0	20,000	0	20,000	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	20,000	0	20,000	0	20,000	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和7年度「豊田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）<包括等>

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	(単位：円) 説明
指定管理料【包括】	31,667,813	0	31,667,813	0	31,667,813	横浜市より
内 受領額	31,667,813		31,667,813		31,667,813	
訳 戻入額					0	
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000		154,000	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	200,000		200,000		200,000	横浜市より
指定管理料【生活支援】	6,187,717	0	6,187,717	0	6,187,717	横浜市より
内 受領額	6,187,717		6,187,717		6,187,717	
訳 戻入額					0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】	10,000		10,000		10,000	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	10,000		10,000		10,000	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	10,000		10,000		10,000	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	10,000		10,000		10,000	
雑入	0	0	0	0	0	
内 印刷代	0		0		0	
訳 自動販売機手数料	0		0		0	
その他	0		0		0	
その他	6,940,735		6,940,735		6,940,735	
収入合計	45,190,265	0	45,190,265	0	45,190,265	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	40,072,515	0	40,072,515	0	40,072,515	法人本部経費が含まれている
内 本俸	29,337,515		29,337,515		29,337,515	
訳 社会保険料	3,000,000		3,000,000		3,000,000	
内 手当計	7,000,000		7,000,000		7,000,000	
訳 健康診断費	100,000		100,000		100,000	
内 勤労者福祉共済掛金	30,000		30,000		30,000	
訳 退職給付引当金繰入額	600,000		600,000		600,000	
その他	5,000		5,000		5,000	
事務費	250,000	0	250,000	0	250,000	法人本部経費が含まれている
内 旅費	35,000		35,000		35,000	
訳 消耗品費	20,000		20,000		20,000	
内 会議賄い費	20,000		20,000		20,000	
訳 印刷製本費	20,000		20,000		20,000	
内 通信費	50,000		50,000		50,000	
訳 使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
内 自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0		0	
訳 その他	0		0		0	
内 備品購入費	50,000		50,000		50,000	
訳 図書購入費	0		0		0	
内 施設賠償責任保険	20,000		20,000		20,000	
訳 職員等研修費	10,000		10,000		10,000	
内 振込手数料	5,000		5,000		5,000	
内 リース料	20,000		20,000		20,000	
内 手数料	0		0		0	
内 地域協力費	0		0		0	
内 公租公課	0	0	0	0	0	
内 事業所税	0		0		0	
内 消費税	0		0		0	
訳 印紙税	0		0		0	
その他	0		0		0	
事業費	2,985,750	0	2,985,750	0	2,985,750	法人本部経費は含まれない
内 協力医	630,000		630,000		630,000	予算：指定額
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	1,781,750		1,781,750		1,781,750	
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000		154,000	
訳 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	200,000		200,000		200,000	
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	220,000		220,000		220,000	
その他			0		0	
管理費	1,716,000	0	1,716,000	0	1,716,000	法人本部経費が含まれている
内 光熱水費	1,000,000		1,000,000		1,000,000	
内 清掃費	395,217		395,217		395,217	
内 機械警備費	63,916		63,916		63,916	
内 設備保全費	256,867	0	256,867	0	256,867	
内 空調衛生設備保守	29,168		29,168		29,168	
内 消防設備保守	8,000		8,000		8,000	
内 電気設備保守	30,000		30,000		30,000	
訳 害虫駆除清掃保守	7,000		7,000		7,000	
内 駐車場設備保全費	0		0		0	
内 その他設備保全費	182,699		182,699		182,699	自動ドア、エレベーター、文書廃棄、
内 共益費			0		0	
その他			0		0	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算：指定額
その他		0	0	0	0	法人本部経費が含まれている
内 証			0		0	
支出合計	45,150,265	0	45,150,265	0	45,150,265	
差引	40,000	0	40,000	0	40,000	
自主事業費 収入	40,000	0	40,000	0	40,000	
自主事業費 支出	2,355,750	0	2,355,750	0	2,355,750	
自主事業 収支	△ 2,315,750	0	△ 2,315,750	0	△ 2,315,750	
管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和7年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 豊田地域ケアプラザ

令和7年4月1日～ 令和8年3月31日
(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
	介護保険収入			0	2,200		2,200	15,900		15,900	74,200		74,200			0
	その他	0	0	0	10,000	0	10,000	0	0	0	80	0	80	0	0	0
収入	事業・負担金収入			0	10,000		10,000	0		0	80		80			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	収入合計(A)	0	0	0	12,200	0	12,200	15,900	0	15,900	74,280	0	74,280	0	0	0
支出	人件費			0	7,000		7,000	12,650		12,650	49,200		49,200			0
	事務費			0	120		120	300		300	8,400		8,400			0
	事業費			0	13,000		13,000	1,200		1,200	24,900		24,900			0
	管理費			0	0		0	0		0	8,500		2,600			0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	160	0	160	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0	0		0	160		160			0
	消費税			0			0	0		0	0		0			0
	介護予防プラン委託料			0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0
	支出合計(B)	0	0	0	20,120	0	20,120	14,150	0	14,150	91,160	0	85,260	0	0	0
	収支 (A) - (B)	0	0	0	-7,920	0	-7,920	1,750	0	1,750	-16,880	0	-10,980	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

豊田地域ケアプラザ地域ケアプラザ

令和7年度 自主事業計画書・報告書

■事業		■事業の性質		■主な対象者、従たる対象者	
1 : 地域活動交流事業	2 : 地域包括支援センター運営事業	1 : 優先的に取り組みが求められる事業	1 : 高齢者	2 : 障害児・者	3 : 養育者及び乳幼児
3 : 生活支援体制整備事業	4 : 共催（1と2）	5 : 共催（1と3）	2 : 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	4 : 子ども・青少年	5 : 地域
6 : 共催（2と3）	7 : 共催（1と2と3）			6 : 事業者	
			7 : その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン実施回数	延べ参加人数	うちオンライン参加人数
1	子育てティーサロン	平成7年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	少子化や核家族化とともに子育て環境の孤立化を解消するため、就園前の乳幼児と保護者を対象にサロン事業として、保護者同士、ボランティアとの情報交換を行う。	3:養育者及び乳幼児		子育て中の保護者同士の交流、子育てに関する相談へのアドバイスを行う。ボランティアグループ「まつぼっくりの会」が当日の進行を行い、ケアプラザが運営を行う。また、地域の保育園、他のボランティアグループの協力を得て、育児講座、手遊び、人形劇公演等を行う。	0	0	0	0
2	障がい児余暇支援事業	平成21年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	障がい児の余暇を支援する事業として笠間地域ケアプラザと共催。共催することで参加者や支援者の参加機会が広がり、地域の障害に対する理解と交流する機会を広めることができる。	2:障害児・者		年間4回笠間地域ケアプラザ共催で実施予定。	0	0	0	0
3	よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	平成22年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	介護施設等でボランティア活動を行うとポイントがたまり、換金、寄付することができるポイント制度を周知し、ボランティアを促進する。	1:高齢者		10月に実施予定。	0	0	0	0
4	福祉教育	平成23年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	高齢者、障害者の理解を深めるとともにケアプラザについて地域へ広報する。	4:子ども・青少年	5:高齢	地区内の小学校・中学校から依頼を受け実施	0	0	0	0
5	ご近所茶話会	平成7年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	参加者の仲間づくり、生きがいづくりの支援、および参加者の安否確認をおこなう。	1:高齢者		高齢者対象のサロン事業で、健康維持のための頭や手先を使ったレクリエーションなどを取り入れ、フリースペースとして楽しみの場を提供する。個人ボランティアが企画・運営する。	0	0	0	0
6	利用団体説明会	平成24年度	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	会場利用についての説明や注意変更点等を周知する。	7:その他		同内容を年2回実施。	0	0	0	0

■事業				■事業の性質		■主な対象者、従たる対象者			
1 : 地域活動交流事業	2 : 地域包括支援センター運営事業			1 : 優先的に取り組みが求められる事業		1 : 高齢者	2 : 障害児・者	3 : 養育者及び乳幼児	
3 : 生活支援体制整備事業	4 : 共催（1と2）	5 : 共催（1と3）		2 : 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		4 : 子ども・青少年	5 : 地域	6 : 事業者	
6 : 共催（2と3）	7 : 共催（1と2と3）					7 : その他			

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン実施回数	延べ参加人数	うちオンライン参加人数
7	豊田スクエアステップ	平成28年度	4:共催(1と2)	2:発展させるねらい	高齢者の転倒予防、介護予防、認知症予防の効果を推進する。	1:高齢者		ストレッチや全身の体操をした上で専用のマットを利用して、ステップパターンを覚えて、間違わないように前に進む足踏みエクササイズを実施します。	0	0	0	0
8	後見制度出前講座	令和3年	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	後見制度の普及啓発	1:高齢者		栄区内包括社会福祉士が作成した資料を元に制度を解説していく	0	0	0	0
9	虐待出前講座	令和3年	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	高齢者の虐待をわかりやすく説明し、虐待予防を図っていく	1:高齢者		栄区内包括社会福祉士が作成した資料を元に制度を解説していく	0	0	0	0
10	詐欺予防講座	令和7年	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	エリアで多発している高齢者を狙った特殊詐欺について専門家から手口など講義してもらい詐欺被害予防を図ります	1:高齢者	5.地域	地域住民に馴染みのある郵便局長に講師を依頼していく	0	0	0	0
11	AIAIAIの会	令和7年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	認知症予防の普及啓発事業を身近な地域で参加してもらうこと、広げることを目的に豊田ケアプラザで実施する。今年度より自主化となる。ケアプラザとしてフォロしていく	1:高齢者		簡単な運動とゲームを実施。仲間づくりとなっている。月1回	0	0	0	0
12	栄養講座	R7年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	フレイル・栄養改善について普及啓発	1:高齢者		栄養士の講師を招き、フレイル、栄養改善についてレクチャー	0	0	0	0
13	口腔講座	R7年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	フレイル・口腔機能低下予防について地域の通いの場にも出向き啓発を行いセルフケアに繋げる	1:高齢者		オーラルフレイルの予防を行う。	0	0	0	0
14	運動講座	R7年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	フレイル・ロコモ予防について普及啓発	1:高齢者		健康運動指導士の講師を招き、フレイル予防についてレクチャー	0	0	0	0
15	栄養講座	R7年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	フレイル・栄養改善について普及啓発	1:高齢者		栄養士の講師を招き、フレイル、栄養改善についてレクチャー	0	0	0	0
16	口腔講座	R7年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	フレイル・口腔機能低下予防について地域の通いの場にも出向き啓発を行いセルフケアに繋げる	1:高齢者		オーラルフレイルの予防を行う。	0	0	0	0
17	運動講座	R7年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	フレイル・ロコモ予防について普及啓発	1:高齢者		健康運動指導士の講師を招き、フレイル予防についてレクチャー	0	0	0	0